

五

近代化遺産

からのメッセージ

とちぎの近代化産業の記憶を受け継ぐ旅

とちぎ
いにしへの
回廊

歴史への
しどない

ぶらり
散策

歴史への
しぎない

近代化遺産からのメッセージ



大正初年の黒磯駅構内（個人蔵、那須野が原博物館提供）



雲井織（明治22〔1889〕年：県指定：県立足利工業高等学校保管）
日本の意匠登録第1号で、足利織物の先進性を象徴する織物見本

明治政府による殖産興業政策は、栃木県においても産業の近代化を推し進めました。中でも足尾銅山での銅生産は日本の近代化を支え、二十世紀初頭には日本の銅産出量の四分の一を占めるほどの鉱山となりました。その一方で、足尾銅山から渡良瀬川へ鉱毒が流出し、田中正造は被害を受けた農民たちと共にこの問題に立ち向かいました。

織物業は足利や群馬県の桐生で急速に発展し、海外へ輸出されました。宇都宮で採掘される大谷石は、帝国ホテルに使用され、関東大震災をきっかけに広く知られるようになりました。その石材運搬には、人が貨車などを押す「人車鉄道」が活躍しました。那須野が原開拓は、日本三大疏水のひとつである那須疏水の通水とともに地元（そで）の結社・華族農場が数多く設立され、本州最大の農場群となりました。これらの産業や開拓を支えたのが鉄道でした。

栃木県の近代化は、日本の近代化の縮図ともいえます。これらは、わたしたちに様々な問題を問いかける文化遺産なのです。



田中正造遺愛の肖像 明治四十五〔一九三二〕年撮影／佐野市郷土博物館蔵



大谷停車場（明治42〔1909〕年：栃木県立図書館蔵、那須野が原博物館提供）

産業の近代化、その光と影 ～渡良瀬川～

国指定
重文建造物

旧下野煉化製造会社煉瓦窯

ろ-6

赤レンガが圧巻の十六角形の窯

明治二十二年(一八九九)年建造。経済産業省「近代化産業遺産群」(赤煉瓦)に選定。国内に四つあるホフマン式輪窯のうち、唯一ほぼ完全な姿で残っている。

野木町交流センター／野木町野木

【問】0280-33-6667【公開時間】9時～17時【休館日】月、祝日、祭日(祝日祭の場合は開館、翌日休館)年末年始(12月29日～1月3日)【入館料】一般100(80)円 中学生以下は無料 ※()は15名以上の団体料金



谷中村跡

ろ-6

声なき声が聞こえてくる鎮魂の地

明治三十九年(一九〇六)年、足尾銅毒被害の防止策として遊水池をつくるため、藤岡町(現・栃木市藤岡町)に合併され廃村。現在、史跡として訪問できる。

谷中村史跡保全ゾーン／栃木市藤岡町内野

【利用時間】(3/1～10/31) 9時～17時(11/1～11/30) 9時～16時(12/1～2月末日) 9時～16時【利用不可】月(祝日)の場合は利用不可で翌日利用不可) 年末年始



県指定
建造物

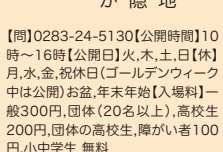
田中正造旧宅

【問】0283-24-5130【公開時間】10時～16時【公開日】火、木、土、日【休】月、水、金、祝日(ゴールデンウィーク中は公開)お盆、年末年始【入場料】一般300円、団体(20名以上)、高校生200円、団体の高校生、障がい者100円、小中学生 無料

「義の人」原点の生家

平成五(一九九三)年一般公開され、地域の財産として大切に守られている。隠居所、母屋、土蔵の他、田中正造ゆかりの資料も見学できる。

佐野市小中町



県指定
建造物

旧木村輸出織物工場事務所棟

い-5

明治期足利織物を代表する工場

工場棟は明治二十五(一八九二)年、事務所棟は明治四十四(一九一一年)建築。経済産業省「近代化産業遺産群」(岡毛織物)に選ばれている。

足利市助戸公民館／足利市助戸仲町

【問】(平日)足利市教育委員会文化課 0284-20-2230(土日・祝日) 足利市助戸公民館 0284-44-0791【開館時間】9時～16時(雨天時は閉館)【開館日】年末年始(要事前確認)【入館料】無料(見学の際は助戸公民館で受付)



国指定
史跡

足尾銅山跡「通洞坑」

い-4

千二百キロメートル以上つづく坑道の入口

明治十八(一八八五)年に開削をはじめ、十一年をかけて完成。開削には当時の最新技術を導入。経済産業省「近代化産業遺産群」(足尾)に選定。

足尾銅山観光／日光市足尾町通洞

【問】0288-93-3240【開館時間】9時～16時【休館日】年中無休【入館料】大人820円、小、中学生410円



国登録
建造物

わたらせ溪谷鉄道・通洞駅

い-4

鉱山都市・足尾の玄関口

大正元(一九一二年)、足尾鉄道の駅開業にあわせて建築された木造平屋の駅舎。柱や梁(はり)が壁の表面にあらわれているのが特徴。

日光市足尾町通洞



石の建造物と近代化遺産

県指定
建造物

日本聖公会
日光真光教会

ろ-3

設計者夫妻が眠る石造りの教会

英国国教会に属し、現在の教会堂はアメリカ人の建築家で教育者のガーデナーによる設計。外壁は近くの大谷川(だいやがわ)から採取された石を、内部は鹿沼石を用いて、大正二(一九一三年)に完成した。



日光市本町 【問】0288-54-3464

県指定
建造物

屏風岩石材 石蔵

は-4

洋風デザインを施した大谷石の蔵

明治末期の建造で、石の町・大谷を代表する石蔵。大谷石で積み上げられ、西蔵は居住用として、東蔵は倉庫として利用されていた。



宇都宮市大谷町 【問】0288-54-3464

国登録
建造物

カトリック松が峰教会

は-4

大谷石に込められた祈りの森

明治二十一年(一八八八)年、宇都宮天主公会として創立。聖堂は、スイスの建築家マックス・ヒンデルによる設計で昭和七(一九三二)年に完成。大谷石建築では現存最大級を誇る。



宇都宮市松が峰1丁目 【問】028-635-0405 【時間】(通常)8時半～20時

那須野が原と近代化遺産

市指定
史跡

常盤ヶ丘

は-2

那須野が原開拓の功労者たちが眠る

標高二百四十八・五メートルの赤松が生い茂る丘。中腹には、矢板武(やいたたけ)や印南丈作(いんなみじょうさく)ら那須野が原開拓にゆかりある五名の墓がある。

那須塩原市二ツ室ほか



国指定
重文建造物

那須疏水旧取水施設

は-2

断崖に造られた石の水門

明治十八(一八八五)年、那珂川の絶壁にトンネルを掘って造られた取入口。その後、明治三十八(一九〇五)年に第一取入口が造られた。

那須疏水公園／那須塩原市西岩崎

548 448 199



国登録
建造物

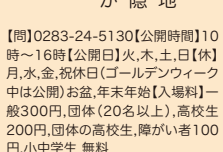
高木会館

【問】02887-64-2330 【時間】11時～21時【休】火

カフェとして利用される旧銀行本店

大正七(一九一八)年、黒磯銀行本店として建築。外観正面は芦野石、側面と背面には大谷石を積み上げ、和洋折衷した独特の雰囲気がある。

那須野が原市高木



国登録
建造物

旧青木家那須別邸

は-2

開拓農場経営者の生活を物語る家

当時の外務大臣で那須野が原に自らの農場を所有していた青木周蔵が、明治二十一年(一八八八)年に建てた西洋式の邸宅。立派な並木道と四季折々の花々が出迎えてくれる。

とちぎ明治の森記念館／那須塩原市青木

【問】0287-63-0399【開館時間】(4～9月)9時～17時(10～3月)9時～16時半【休館日】月(祝日)の場合は開館、翌日休館)年末年始(12/29～1/3)【入館料】大人200円、小、中学生100円 ※毎月第3日曜「家庭の日」は中学生以下は無料



国登録
建造物

高木会館

に-2

カフェとして利用される旧銀行本店

大正七(一九一八)年、黒磯銀行本店として建築。外観正面は芦野石、側面と背面には大谷石を積み上げ、和洋折衷した独特の雰囲気が漂う。



カフェ・ド・グランボワ／那須塩原市本町

【問】02887-64-2330 【時間】11時～21時【休】火

ぶらり 散策

とちぎの近代化を
今に伝える
貴重な建造物

P 駐車場  トイレ



P  

国登録
建造物 足利市西宮町


織姫神社

宝永2(1705)年、機織(はたお)りの神様を祀り創建。社殿は明治期に焼失するも、昭和12(1937)年再建された。足利の産業振興の守り神、縁結びの神様として親しまれている。

市指定
史跡 矢板市本町

矢板武記念館



那須野が原開拓の功労者矢板武の旧宅。関連資料や写真の展示の他、庭園や樹齢約180年のシダレザクラ(市指定天然記念物)など四季折々の景色が楽しめる。

P  (矢板市役所) 【問】0287-43-0032 【開館時間】(4~10月)9時半~16時(11~3月)9時半~15時【休】月、火(祝休日の場合は開館、翌日休館)祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始(12月27日~1月5日)【入館料】大人100円(60円)小、中学生50円(30円)※()は20名以上の団体料金、11月1日~3日は無料公開

県指定
建造物 県立那須拓陽高等学校
那須塩原市下永田4丁目

大山記念館洋館

明治38(1905)年頃、元帥・大山巖が自らの農場に建築した素朴ながら重厚なレンガ造りの洋風別荘。隣に和風の建物が併設されている。

P   【問】0287-36-1225 【開館日】月、水、金(見学は数日前までに予約が必要)【開館時間】13時~16時【入館料】無料

栃木県内の近代化遺産関連の出来事

年代

(国内の主な出来事)

19世紀

- 戊辰戦争、江戸を東京と改称(1868年)
- 廃藩置県がおこなわれる(1871年)
- 古河市兵衛、足尾銅山を買収(1877年)
- 伊藤博文・松方正義が那須野が原を視察する(1879年)
- 印南文作・矢板武等、那須開墾社を組織(1880年)
- 三島通庸、栃木県令に就任(1883年)
- 県庁が栃木から宇都宮へ移転(1884年)
- 那須疏水取入口完成(1885年)
- 東北本線、上野~宇都宮間が開通(1885年)
- 東北本線、宇都宮~黒磯間が開通(1886年)
- 両毛鉄道、小山~足利間が開通(1888年)
- 外務大臣青木周蔵が西洋風の那須別邸を建築(1888年)
- 大日本帝国憲法公布(1889年)
- 第1回帝国議会開院(1890年)
- 日光線全線開通(1890年)
- 衆議院議員田中正造、第2回帝国議会で鉍毒事件に関する質問書を提出(1891年)
- 日清戦争(1894~95年)
- 宇都宮軌道運輸株式会社創設(1896年)
- 西原町~荒針間が開通(1897年)

20世紀

- 田中正造、衆議院議員を辞職。天皇に直訴(1901年)
- 日露戦争(1904~05年)
- 谷中村を強制廃村し、藤岡町に合併(1906年)
- 明治天皇崩御、大正と改元(1912年)
- 田中正造が支援者の庭田家で永眠(1913年)
- 第一次世界大戦(1914~18年)
- 足尾鉄道全線開通(1914年)
- 宇都宮石材軌道、鶴田~荒針間が開業。
- 大谷石の販路が飛躍的に拡大(1915年)
- 関東大震災(1923年)
- 大正天皇崩御、昭和と改元(1926年)
- 第二次世界大戦(1939年)
- ポツダム宣言受諾(1945年)

佐野市郷土博物館

【所在】佐野市大橋町2047

【問】0283-22-5111【開】9時～17時（入館は16時半まで）【休】月（祝休日は開館）祝休翌日（土日の場合は開館）毎月末日、年末年始 ※臨時休館日あり【料金】無料（企画展開催時は有料）【駐車場】あり



足利まちなか遊学館

【所在】足利市通1-2673-1

【問】0284-41-8201【開】9時～17時【休】第3月曜（祝休日の場合は開館、翌日休館）年末（12月29日～31日）【料金】無料【駐車場】なし ※太平記念館観光駐車場（無料、開場9時～17時）を利用



大谷資料館

【所在】宇都宮市大谷町909

【問】028-652-1232【開】4月～11月：9時～17時（入館は16時半まで）12月～3月：9時半～16時半（入館は16時まで）【休】4月～11月：なし 12月～3月：火（祝日開館）祝休翌日 年末年始（12月26日～1月1日）※臨時休館あり【料金】大人800円（700円）小人（小・中学生）400円（350円）※（）は20名以上の団体料金【駐車場】あり



足尾歴史館

【所在】日光市足尾町松原2825

【問】0288-93-0189【開】10時～16時

【開館期間】4月1日～11月30日【休】月（祝休日の場合は開館、翌日休館）

【料金】（一日会員券）大人（高校生以上）350円（300円）小人（小学生以上）250円（200円）※（）は15名以上の団体料金、障がい者割引券（上記料金で付き添いの方は無料）

【駐車場】あり



石井河岸菊池記念歴史館

【所在】宇都宮市石井町2287

【問】028-661-8303【開】9時～16時半

【開館日】土、日、祝休日【料金】無料【駐車場】あり



那須野が原博物館

【所在】那須塩原市三島5-1

【問】0287-36-0949【開】9時～17時（入館は16時半まで）【休】月（祝休日は開館）くん蒸期間（12/11～18）年末年始（12/28～1/4）【料金】一般300円（250円）高校、大学生200円（150円）小、中学生100円（50円）※（）は20名以上の団体料金 ※特別展開催時の料金はその都度定める【駐車場】あり

さんしぎょう
栃木の近代産業を支えた蚕糸業

明治4（1871）年、国内の殖産興業政策の先駆けとして、江戸日本橋の豪商川村伝左衛門（つさむ）が河内郡石井村（現：宇都宮市石井町）に養蚕・製糸工場を設立しました。つさむは明治2（1869）年、鬼怒川沿岸に桑苗を植え、翌年蚕の育成を手がけました。そして明治4（1871）年、

製糸試験場を設立し、翌5年には蚕の卵の改良に着手しました。やがて生糸生産が軌道にのると「大嶋商舎おおしましょうしゃ」と称し、ここでつくられた生糸や蚕種などが海外の博覧会で高い評価を受けました。大嶋商舎で生まれた生糸は、栃木県のみならず、国内の産業の近代化に貢献したのです。



大嶋商舎商標（明治10年代：栃木県立博物館蔵）

【表紙写真：左上から】旧木村輸出織物工場／古河橋（国重文）／旧青木家那須別邸／天狗の投岩（大正4〔1915〕年：栃木県立図書館蔵）／カトリック松が峰教会／（写真右最下部）那須疏水旧取水施設

「とちぎいにしへの回廊」とは

古くから自然と人間とのかかわりを通じて、人びとの生活の中から生まれ、大切に守り伝えられてきた文化財。「とちぎいにしへの回廊」は、栃木県内に残る貴重な文化財を新しい視点で紹介することで、文化財という「宝」を知ってもらい、また新たな魅力を発見してもらおうプロジェクトです。

「とちぎいにしへの回廊」では、7つのテーマ（川と古墳、^{とうさんどう}東山道、中世武士団、日光への道、近代化遺産、おくのほそ道、くらしと水）を設けました。本パンフレットは5番目「近代化遺産」をテーマとしたルートマップです。

また「とちぎいにしへの回廊」専用WEBサイトを開設しました。こちらでは県内の文化財やお祭り・伝統行事の開催情報などを随時提供しています。ぜひチェックしてみてください。



<https://www.inishie.tochigi.jp>

関係連絡先一覧

栃木県教育委員会事務局文化財課
☎028-623-3424

足利市教育委員会事務局文化課
☎0284-20-2230

佐野市教育委員会事務局文化財課
☎0283-61-1177

栃木市教育委員会事務局文化課
☎0282-21-2497

日光市教育委員会事務局文化財課
☎0288-25-3200

宇都宮市教育委員会事務局文化課
☎028-632-2768

矢板市教育委員会事務局生涯学習課
☎0287-43-6218

那須塩原市教育委員会事務局生涯学習課
☎0287-37-5419

野木町教育委員会事務局生涯学習課
☎0280-57-4188

写真提供・協力者（敬称略）

足利まちなか遊学館／佐野市郷土博物館
／栃木県立図書館／栃木県立博物館／
那須野が原博物館／野木町教育委員会
／古河機械金属株式会社足尾事業所／
矢板市教育委員会／わたらせ渓谷鐵道
株式会社／高木慶一

発行

栃木県教育委員会事務局文化財課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

2014(平成26)年 3月 第1刷発行
2015(平成27)年 7月 第2刷発行
2018(平成30)年 3月 第3刷発行



モデルコース①	旧下野煉化製造会社煉瓦窯 (12.7km 車26分)	谷中村跡 (16.4km 車30分)	佐野市郷土博物館 (3.7km 車8分)	道の駅どまんなかたぬま (2.7km 車6分)
モデルコース②	田中正造旧宅 (10.3km 車20分)	旧木村輸出織物工場 (1.5km 車5分)	足利まちなか遊学館 (1.2km 車6分)	織姫神社
モデルコース③	栃木県立博物館 (9.2km 車23分)	石井河岸菊池記念歴史館 (36.5km 車46分)	矢板武記念館・道の駅やいた (9.4km 車15分)	常盤ヶ丘 (5.1km 車10分)

※距離および所要時間(実際の交通状況等により異なる場合があります)はあくまで目安です。

凡例

国指定・登録
県指定
市町指定
道の駅
文化施設

近代化遺産
からのメッセージ

どちぎ
いにしえの
回廊
五



文化財を見るための注意

- ここに掲載した文化財は、非公開のものや期間を限って公開されるもの、個人が所有するものがあります。見学可能が事前に確認しましょう。
- 見学をする際は安全に十分注意しましょう。法律で禁じられている場所への立ち入りはできません。
- 文化財の所有者・管理者、近隣の方々や他の見学者の迷惑とならないよう見学しましょう。
- 文化財やその周辺を汚したり、傷つけたりないようにしましょう。
- 文化財の中やその周辺では、火気は使用せず、ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- このマップで取り上げている文化財の名称は通称を掲載しているものもあり、正式な文化財指定名称と必ずしも一致しません。



茨城県